

スカウト おおいた

第44号

2016年 1月10日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

新年ご挨拶

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
理事長 戸高有基

三指

明けましておめでとうございます。皆様には新たなお気持ちで平成28年の初春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年中は、ボーイスカウト運動にご支援ご協力を賜りました事に御礼申し上げます。

特に、44年振りの日本開催となりました第23回世界スカウトジャンボリーの開催では多くの皆様方にお力添えを戴きました。山口県きらら浜に155の国と地域から、当初予定の参加者を上回る3万3,000・628人の

スカウト関係者が世界中より集い、天候にも恵まれ、広島・長崎での平和プログラムを始めとして場内場外で交流友好の輪を広め深めるなど、成功裡に開催することができました。

大分県連盟からもスカウト隊1ヶ隊の派遣と運営委員を含め50名が参加できたことは、日頃の皆様の教育訓練の賜物であろうと感謝御礼申し上げます。派遣スカウトや見学参加をして頂いたスカウトや保護者の皆様にも感動の大会であったと思います。



また、イギリス・マカオ派遣団スカウトのホームステイにあたり、受け入れ家庭と地域団には、大変お世話になり感謝御礼申し上げます。彼らもまた本大会場とは違った日本を体験して、多くの思い出を持って帰国したと思います。

スカウト運動が始まって109年、我が国スカウト運動も本年で連盟発足94年となります。最近、価値観の多様化が言われますが、私たちは自己の研鑽と社会教育としての青少年の健全育成、社会奉仕活動としてのスカウト運動の一層の普及・啓蒙に努めていかなければならないと思います。世界各地で地域間・宗教間での紛争が激しくなっていますが、23WSJのように各国青少年が、お互いを理解し尊重し合っていけるような組織活動としてのスカウト運動が広まるように努めてまいります。

スカウト・指導者には、本運動の参加者の拡充と指導者研修を始めとした資質の向上に努めて戴きますようお願い申し上げます。

支援者の皆様には、引き続きご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

弥栄

平成27年度 菊章 隼章 交付

平成27年度に菊章・隼章を取得された方々です。誠にありがとうございます。

菊章

宇都宮 敬也	別府第9団
志手 鈴果	別府第9団
北里 悠馬	大分第2団
古木 宇宙	大分第2団
長濱 雅人	大分第9団

隼章

西田 裕亮	由布第2団
斉藤 俊大	大分第9団



パイオニアリング

期日：平成 27 年 9 月 6 日
 場所：津久見市青少年研修センター
 内容：丸太の皮はぎ作業から行い
 沖まで漕ぎ出した筏です



スキルトレーニング

期日：平成 27 年 10 月 10 日～11 日
 場所：由布市陣屋の村
 内容：野外での活動に必要な家型テントの設営を中心
 に基本動作をはじめ、野外料理やナイフのとき
 方等、野外生活に必要な技能の習得をテーマと
 し、テントは自分で建てられるのみならず、点
 検・指導ができることを目指し実施しました。



カブフェスティバル ビーバーフェスティバル

期日：平成 27 年 11 月 15 日
 場所：大分市中心部
 内容：楽しいフェスティバルでした、カブ
 の三太郎の出し物は見ごたえがあり
 ました



暴力絶滅おおいた市民大会」奉仕

期日：平成 27 年 11 月 15 日
 場所：大分市若草公園
 内容：スカウト、リーダー合計 31 名の参加で若草公
 園での式典、標語の表彰式の後、横断幕と各参
 加団体のプラカード持ち竹町と中央町商店街を
 パレードしました。



ウッドバッジ研修所

期日：平成 27 年 11 月 21 日～23 日
 場所：大分市いまいち山荘
 内容：カブスカウト課程九州・沖縄第 5 期の研修所が開
 設され、九州各県から 31 名、うち大分県からは
 7 名と多くの皆様の参加で実施できました。



各団活動

中津第8団

16NJの頃から結成の話が上がる。他の大学と異なり、山口大にはローバースがなかったので現役ボーイスカウトである山口大OBの協力を得て2月に結成した。結成後に山口県連に挨拶に行った。メンバーは現在2年生3人、3年生1人。登山や海外スカウトの歓迎行事等の活動を行ってきた。



杵築第1団

各月1回の隊集会を行うとともに、8月には、杵築市主催の夏休み公民館学校における半日講師として、小学生にロープワークを教えながら、たちかまどを作成したり、9月のキャンプでは、他の青少年育成団体との初の合同キャンプを行い、交流を深めました。11月には、竹林の整備事業にボランティア奉仕として、粉碎された竹チップの運搬を手伝いました。活動の認知や、スカウトの募集に向けての活動にも力を注いでいます。



別府第9団

戦後70年の節目を刻んだ今年、戦争を知らない世代もマスコミ報道でかなりの知識を得て、平和への理解が深まったのではなかろうか。

その趣旨で、ボーイ隊の11月プログラムはハイキングに読図調査ハイクを兼ね、日出町大神地区を巡る15kmのコースの一部で時間設定をし、大神漁港にある特攻兵器「人間魚雷回天」で散華した全国1073柱を祀る「回天神社」と当時の回天基地の遺構の「回天記念公園」の散策・実物大(14.75m)「回天」

のレプリカの操縦席試乗体験等を組み込んだ、ボランティアガイドさんの説明からさらに学習を深めることができた。



由布第2団

11月7日・8日は、陣屋の村でボーイ隊キャンプでした。夜の活動は、防水マッチ作りとモールス。暗闇の中、歌声の聞こえるゆったりとした時間が過ぎます。隣ではベンチャー隊もキャンプ。ベンチャーから入隊したK君も一緒に年間活動計画作成しました。

陣屋の村は自然がいっぱい。夜中には猿も遊びに来ていたようです。



大分第1団

今年も恒例となりました中津第8団との合同キャンプを10月24、25日に少年自然の家『おじか』にて行いました。

始めはぎこちなかったものの徐々に馴染み、2日目には旧知の友達のように感じるほどになりました。



た。ボーイ隊とは違いカブ隊は他団との交流の機会が少ないので、これからも出来る限り続けてスカウト同士の交流を深めていきたいと思います。

大分第2団

12月13日(日)に毎年恒例の団行事である「喜びの集い」を行いました。

スカウトと見学者を合わせ総勢50名以上が4チームに分かれ、お餅つき、街頭募



金、室内体操を順番にしました。食物への感謝、丈夫な体への感謝、そして両親への感謝の気持ちを忘れず、素直に「ありがとう」と言えるスカウトになってもらうよう日々活動しています。

大分第5団

12月6日 大分5団では発団60周年記念大会を坂ノ市公民館にて開催いたしました。

友団の皆さんやスカウトや指導者の経験者、日頃からご支援いただいている地域の皆様、そして活動を共にする関係団体を含めて約180名という大勢の方が参加して大会が開催できましたと深く感謝いたします。



秋から 手作り記念品づくり作成や大会の準備をしな

がら、短い期間の練習や数回のリハーサルで臨んだ大会となりましたが、誠実と素直というテーマのもとスカウト達は澁刺と5回を表現してくれました。

この大会を機に団が結束し、振り返り、反省しながら団員全員さらなる進化を目指してまいります。

『つねに前進 つねに一歩』

大分第9団

11月15日、カブフェスティバルが大分市竹町にて開催されました。この日のために、デンリーダー中心の組集いを、何度も開きました。当日の浦島太郎のスタンツでは、地道な練習を繰り返し行った1組が、見事優勝を勝ち取りました。努力の継続が、成功に繋がった素晴らしい瞬間でした。私も心から感動しました。スカウトの皆さん、関係者の皆さん、貴重な体験を本当にありがとうございました。



津久見第1団

今年の夏は大忙し!

8月1日にバスをチャーターして、デイビジターで23WSJ会場を訪問。暑かった! 会場では、思う存分ワールドジャンボリーの雰囲気味わって満足!

8月8日よりホームステイの受入。帰国の日、ホストファミリーとのお別れがつかったなあ。

8月22日~23日。夏の仕上げは、団キャンプ。筏づくりに海水浴に「四浦の夏」を満喫しました。

